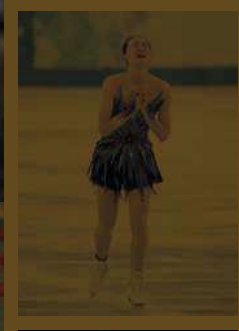
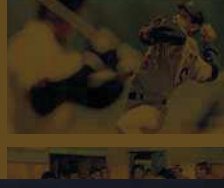


報道写真で振り返る



Footprints
of the
HEISEI Era
A news agency as eyewitness



平成の軌跡

- 定点観測者としての通信社 -

2018.11.24[土]-12.2[日]
東京国際フォーラム ロビーギャラリー

[時間] 10～19時(初日12時から/最終日18時まで) / 会期中無休
[主催] 公益財団法人新聞通信調査会 [協力] 共同通信社

入場無料



Footprints of The Heisei

報道写真で振り返る、平成の30年

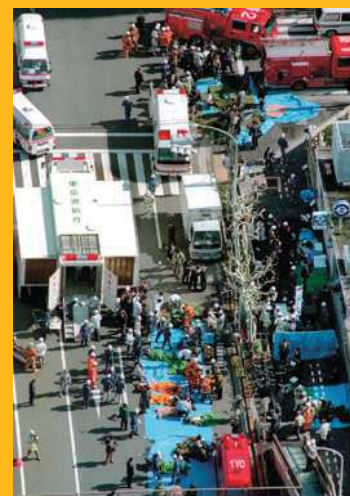
皆

さんにとって2019年4月に終わる「平成」を象徴する出来事は、何だったでしょうか。

平成の始まりはバブル経済真っ盛りでした。その後に続く長い景気停滞は社会にも暗い影を落としました。阪神大震災、東日本大震災をはじめとする大規模な自然災害、オウム事件など凶悪犯罪の多発や政治の劣化、国内外の分断の風景も時代の空気を重くしました。半面、スポーツ選手の活躍やノーベル賞の受賞に晴れやかな思いを抱いた記憶も鮮明です。

通信社が記録してきた膨大な報道写真から厳選して、2012年に始めた写真展シリーズ「定点観測者としての通信社」は、10回目を迎えました。今回は約130枚の写真で綴る「平成の軌跡」です。

皆さんが胸に刻んできた心のアルバムと比べながら平成の30年を振り返り、次の時代に思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。



〈写真左上から〉1991年6月「雲仙・普賢岳で火砕流」／2018年9月「北海道地震で大規模土砂崩れ」
 2003年4月「引き倒されるフセイン像」／1995年3月「地下鉄サリン事件」／2004年8月「北島がアテネ五輪競泳で金」
 2008年5月「四川大地震に日本の緊急救援隊」／2011年4月「東日本大震災で損壊した福島第1原発」(防衛省提供)

「平成の軌跡」 - 定点観測者としての通信社 -

- [会期] 2018年11月24日(土)-12月2日(日)
- [会場] 東京国際フォーラム ロビーギャラリー
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5-1
- [時間] 10～19時 (初日12時から/最終日18時まで) 会期中無休
- [料金] 無料
- [主催] 公益財団法人新聞通信調査会 [協力] 共同通信社
- [交通] JR線 有楽町駅より徒歩1分 / 東京駅より徒歩5分
 地下鉄 有楽町線: 有楽町駅 (B1F 地下コンコースにて連絡)
 日比谷線: 銀座駅より徒歩5分、日比谷駅より徒歩5分
 千代田線: 二重橋前駅より徒歩5分、日比谷駅より徒歩7分
 銀座線: 銀座駅より徒歩7分、京橋駅より徒歩7分
 丸の内線: 銀座駅より徒歩5分 / 三田線: 日比谷駅より徒歩5分

